

2013年8月1日

次世代省エネ型バルクキャリアー “CAPE GREEN“ 命名・引渡

ジャパン マリンユナイテッド株式会社（社長：三島 慎次郎，本社：東京都港区）は、8月1日（木）、有明事業所（熊本県玉名郡長洲町）にて建造中の三菱商事株式会社（本社：東京都千代田区）向け次世代省エネ型バルクキャリアー（G209BC）“CAPE GREEN”（ケープ グリーン）を引き渡しました。

本船は、弊社主力商品である20万トン型バルカーのコンセプトである、「豪州から日本への鉄鋼原料輸送の効率を最大限に高めた船型」を踏襲しつつ、次世代省エネ船として開発致しましたGシリーズの記念すべき第一船になります。バンカー費用の高騰、環境問題への関心が高まる中、弊社では「省エネ」に着目し、Gシリーズを開発致しました。

線図改良による船体性能の向上、排熱回収システムを主とした低燃費プラントの構築、省エネ付加物の最適化等を図り、大幅な環境負荷低減、燃費低減を実現しました。また、弊社が開発致しました最適航路探索・モニタリングシステム Sea-Navi を搭載しており、省エネな運航計画の作成に寄与する事が期待されます。

本船は、豪州から極東への原料輸送に使用されます。

【本船概要】

主要寸法	: 全長 300.0 m x 幅 50.00 m x 深さ 25.00 m x 喫水 18.40 m
載貨重量	: 209,000 トン
総トン数	: 約 107,100 トン
主機関	: MAN-B&W 7S65ME-C
航海速力	: 14.70 ノット
船級	: NK
船籍	: パナマ
建造所	: ジャパン マリンユナイテッド（株）有明事業所